

訓練における新型コロナウイルス感染症対策（案）

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた感染症の流行下での原子力災害時における防護措置の実施ガイドライン（主な項目）			訓練における実施内容	
1	全般	住民への周知	必要な感染症対策（マスク着用等）の広報	参加住民に対して、感染症対策を十分行うよう事前説明会で周知するとともに、訓練当日の放送でも同様の内容を広報。
		防災業務関係者の感染症対策	個人用防護具を装着するなど、感染症対策に配慮	マスク着用を徹底し、各訓練会場に消毒液を設置。
			不特定多数の者が触れる箇所や共用品の定期的な消毒	ボールペン等の共用品をその都度消毒。トイレ等の共有スペースの定期的な消毒。
2	一時集合場所	受付での対応	3密を避ける	受付の屋外設置。受付時の相互間の距離の確保。受付内容の簡素化。
			受付ではマスク着用確認、手指消毒、健康確認の実施	マスク着用の確認。マスクを持っていない者への配布。手指消毒液の設置。非接触型体温計による検温の実施。
		施設内での対応	健康確認の結果を踏まえ、隔離、間仕切り等の感染防止	健康確認で異常があった者を隔離するスペースを確保。
			GE以降は換気を行わないことを基本とし、放射性物質の放出に注意しつつ、換気を行う。	個人線量計・サーベイメーターの値を確認し、30分に1回の換気を実施。
3	避難車両	乗務員の感染防止対策	個人用防護具の着用	マスク、フェイスシールド、手袋の着用。
		乗車時の対応	マスク着用確認、手指消毒の実施	乗車時にマスク着用の確認・未着用者への配布、手指消毒の実施。
			座席を空けるなどの3密対策	2席1人の使用。
		車内での対応	GE以降は換気を行わないことを基本とし、放射性物質の放出に注意しつつ、換気を行う。	個人線量計・サーベイメーターの値を確認し、30分に1回の換気を実施。
4	緊急配布場所の薬剤	配布時の対応	換気を行わないことを基本とし、放射性物質の放出に注意しつつ、換気を行う。	個人線量計・サーベイメーターの値を確認し、30分に1回の換気を実施。
		注意事項等記載資料の配付、簡潔な説明、年齢による優先配布などの3密対策	注意事項等記載資料の配付、年齢による優先配布の実施。	
5	検査難場所等	検査等での対応	健康確認結果を踏まえて降車順や検査等のタイミングをずらす等の3密対策	感染疑い（模擬）の者については別の検査レーンを設置。
6	屋内退避時及び避難所	屋内退避時の対応	放射線防護施設ではGE後換気は行わず、陽圧化装置を起動するなどの対応	ガイドラインでは原則換気を行わないことになっている旨を十分説明の上、訓練では新型コロナウイルス感染症対策のため十分な換気を行うよう周知。
			UPZ内の医療機関等で屋内退避する場合、基本換気しないが、放射性物質の放出に注意しつつ換気	個人線量計・サーベイメーターの値を確認し、30分に1回の換気を実施。
		受付での対応	マスク着用確認、手指消毒の実施	マスク着用確認・未着用者への配布、手指消毒の実施。
			健康確認等の結果に基づき滞在スペースや動線を分ける。	健康確認で異常があった者を隔離するスペースを確保。